

名古屋市立大学交流会 未来プラン 2025

策定の背景

名古屋市立大学交流会は、本学が総合大学としてのメリットを最大限に生かし、さらなる発展と社会への貢献を図るために、本学に在籍した又は現在在籍している全ての学生及び教員・職員を包含する全学レベルの組織として、2013年に発足した。

その後、ルーツが異なる学部・研究科間の壁を越えて会員相互の親睦と交流・連携を進めることで、「オール名市大の絆」を深めてきた。

発足12年を迎える2025年には、開学75周年記念事業を大学と共催で開催するまでに成長した。

2050年の開学100周年に向け、段階的に交流会の課題を解決し、明るい未来へと飛躍する交流会の未来像を共有するため、名古屋市立大学交流会未来プラン2025を策定することとなった。

MIRAI PLAN

01

会員相互の 交流

1 全同窓会等への支援

データサイエンス学部・リハビリテーション学専攻等の新たな同窓会の立上げを支援するとともに、既存の同窓会等の充実及び一体化の支援を強化する

2 講演会・懇親会の活性化

各同窓会で実施される講演会の情報共有を促進するとともに、可能な支援の方法を模索し、さらには、交流会懇親会等の活性化を通じて相互の連携・協力を高める

3 ホームページの充実

交流会HPや各同窓会HPの連携強化を通じた相互交流の活性化を目指し、将来的には共通的なHP作製を視野に入れた対策を考える

4 交流会員・同窓会員の管理

各同窓会の把握する名簿情報の管理状況を把握し、個人情報の管理を念頭に入れつつ、将来的な一元化を視野に入れた方策を検討する

02

大学の発展と 大学の 社会貢献への寄与

1 学術支援および国際化支援の充実

学生の課外活動に対する支援をはじめ、研究力強化に向けた学術支援、国際シンポジウム等への援助の継続及び強化等を通じて大学の発展に寄与する

2 大学の社会貢献への寄与

地域貢献で大きく評価されている大学の社会貢献(名市大ボックス等)への協力体制の充実を目指す

3 開学周年記念事業等への協賛や共催

開学周年記念事業等、学部または大学が実施する事業に対する共催や協賛等を通じて、ハード面での協力体制の構築のみならず、ソフト面からの協力体制の構築も充実させる



03

未来への 展開

1 既存事業の定着と充実

教員・職員表彰、同窓会表彰、課外活動支援、国際交流活動支援、大学祭支援の既存事業の定着を促進し、継続的な事業内容の見直しと共に内容の充実を目指す

2 更なる新規事業の実施

「オール名市大の絆」に向け、学歌制定等、大学の一体感を高める更なる新規事業を実施する

3 運営基盤の安定

より充実した交流会活動の安定的な運営のため、継続的な事業内容の見直しと共に、教員・職員の幅広い協力による増収及び各同窓会からの協力金制度の構築を進める

4 大学院生の包含

学部学生のみならず大学院学生の新規加入が可能となるような制度の構築を進めつつ、各学部同窓会レベルで大学院生を包含するような仕組みを検討する

5 同窓会関連資料の保存・整理

同窓会が有する歴史的資料の把握に努め、その管理を進めつつ適切な保存方法の模索と共に資料整理が可能な仕組みを充実させる